

# 平成 28 年度 事業 報告 書

特定非営利活動法人 前橋中央硬式野球倶楽部

## 1 事業実施の成果

中学生を中心とする子供達や地域住民に対して、野球の指導や野球大会の開催等を通じ、健康を提供し、体力の増進を図ると共に、硬式野球を中心としたスポーツの振興に寄与することを目的とする活動において、方針に則り事業を実施し成果をあげることができた。

### ① 野球クラブチーム運営に関する事業

必勝祈願や安全祈願を行いチームの結束を図ることができた。平成29年4月から35名の新入部員を迎え入れることができた。

入部式・卒部式には多くの関係者が参加してくださり、多くの方の賛同を得ることができた。

### ② 硬式野球に参加する選手及び指導員、審判員の募集育成に関する事業

指導員に関しては指導マニュアルを改訂し、12月に配布と研修会を実施、審判員に関しては定期的に各地で開催される審判講習会に参加した。

指導員には指導者講習会に参加してもらった。

### ③ 野球大会に関する事業

中学3年生を対象とした諸地域の団体と交流戦を実施し、高校野球を目指す多くの中学生と交流を持つことができ、硬式野球を中心としたスポーツの振興に寄与することができた。

### ④ 野球教育、人材育成に関する事業

例年開催している野球教室を、福岡ソフトバンクホークス 清水 将海 コーチをお招きし、12月30日に実施した。部員や地域の小学生も参加し野球教育、人材育成はもとより、地域スポーツの振興に寄与することができた。

館林市の慶友整形外科病院と医療連携を図り、部員のメディカルチェックを1月と4月に実施し、部員の健康管理・障害予防に努め人材育成に寄与することができた。

4歳児から小学校4年生までを対象にした「前橋キッズ」において、低年齢期の子供たちへの野球振興ならびに底辺拡大を目的として、人材育成に寄与することができた。

### ⑤ 就学指導及び学業補習に関する事業

中学1年生は毎週水曜日と土曜日、中学2年生は毎週月曜日と木曜日、中学3年生は毎週火曜日と木曜日に学業補習を通年で実施。

語彙力向上に向けアスリートブレイントレーニングを導入し、成績向上に努めることができた。長期休業期間に関しては期別の講習会として集中講義を実施し、成績向上に努めることができた。

就学指導に関しては、各志望高校の受験対策として面接指導の定期開催、プレゼンテーション試験における個別指導を実施し、志望高校合格に貢献した。

⑥ 管理運営事業

倶楽部事務所を財団法人 日本少年野球連盟 群馬県支部と兼用した。

⑦ 野球用品等の販売に関する事業

なし

⑧ 上記事業に関する情報提供事業

公式ホームページと公式フェイスブックの更新を引き続き実施し、上記事業に関する情報提供を行うことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
③野球大会に関する事業	(財) 日本少年野球連盟 KH HDS杯 第5回 北関東大会新人戦出場 東日本地区中学生硬式野球16チームによる大会 前橋中央ボーイズ準優勝	10月	群馬県内野球場	15人	群馬県周辺地域 400人
①野球クラブチーム運営に関する事業	平成29年度 卒部式	10月	群馬県社会福祉総合センター	30人	会員及び法人関係者40人 卒部会員41名及び保護者80人、1・2年部員70名
③野球大会に関する事業	若駒準備定期交流大会出場	10月～3月	群馬県内野球場	10人	群馬県内中学3年生 100人
③野球大会に関する事業	(財) 日本少年野球連盟 第47回春季全国選手権大会予選出場 群馬県内中学生硬式野球13チームによる大会	11月	群馬県内野球場	15人	県内中学生 325人
③野球大会に関する事業	(財) 日本少年野球連盟 群馬県支部1年生大会出場 群馬県内中学生硬式野球9チーム、中学1年生による大会	12月	群馬県内野球場	15人	県内中学1年生 225人
①野球クラブチーム運営に関する事業	公開練習会 新入部希望小学6年生	12月 1月 2月 3月	前橋中央緑地公園 北グラウンド	15人	会員及び法人関係者80人小学6年生120人
④野球教育、人材育成に関する事業	プロ野球選手 NPB福岡ソフトバンクホークス 清水将海 コーチによる 野球教室の開催	12月	前橋中央緑地公園 北グラウンド	15人	前橋市周辺地域 中学生及び小学6年生100人
①野球クラブチーム運営に関する事業	必勝祈願、安全祈願	1月	前橋東照宮	15人	会員及び法人関係者 80人

④野球教育、人材育成に関する事業	ホームグラウンド周辺大掃除及びグラウンド整備	1月	前橋中央緑地公園 北グラウンド	15人	会員及び法人関係者 100人
④野球教育、人材育成に関する事業	慶友整形外科病院でのメディカルチェック	1月 4月	慶友整形外科病院	15人	会員・入部会員 及び法人関係者 80人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第6回 春季ペガサス杯硬式野球大会出場 群馬県内中学生硬式野球15チームによる大会	4月	群馬県内野球場	15人	県内中学生 375人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第20回関東ボーイズリーグ大会出場 関東以東中学生硬式野球167チームによる	4月 5月	関東周辺野球場	15人	東日本地域 中学生 4175人
①野球クラブチーム運営に関する事業	平成29年度 入部式	5月	群馬県社会福祉総合センター	30人	会員及び法人関係者40人、入部会員及び保護者105人、2・3年部員80名
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第11回 全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ群馬・埼玉代表決定戦 群馬・埼玉中学生硬式野球9チームによる大会	5月 7月	群馬県内野球場	15人	県内中学生 225人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第48回 全国選手権大会 群馬県支部予選出場 群馬県内中学生硬式野球15チームによる大会 前橋ボーイズ準優勝	6月	群馬県内野球場	15人	県内中学生 375人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第29回東日本選抜大会群馬県支部予選出場 群馬県内中学生硬式野球14チームによる大会	7月	群馬県内野球場	15人	県内中学生 350人

③野球大会に関する事業	ポニーリーグ主催 第23回 新潟大会出場 中学生硬式野球28チームによる大会	8月	新潟県内野球場	15人	出場チーム 中学生120人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第15回日本少年野球東北大会 中学生硬式野球25チームによる大会	8月	仙台市内野球場	15名	出場チーム 中学生625人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第42回 関東大会出場 関東地域中学生硬式野球32チームによる大会	8月	関東周辺野球場	15人	県内中学生 800人
③野球大会に関する事業	(財)日本少年野球連盟 第21上毛新聞社中学生硬式 野球大会 中学生硬式野球32チームによる大会	9月	群馬県内野球場	30人	群馬県周辺地域 中学生 800人

(2) 会議の開催に関する事項

(1) 総会

- ①通常総会 平成28年12月18日(日)
- ②臨時総会 平成29年 4月30日(日)

(2) 理事会

- ①第1回理事会 平成28年12月18日(日)
- ②第2回理事会 平成29年 1月 7日(土)
- ③第3回理事会 平成29年 5月 7日(日)

平成28年度 活動計算書

平成28年10月1日から平成29年9月30日まで

特定非営利活動法人 前橋中央硬式野球倶楽部

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
受取会費	21,381,866		21,381,866
2. 受取寄附金			
受取寄附金	380,000		380,000
3. 事業収益			
賃貸事業収益		180,000	180,000
4. その他収益			
受取利息	49		49
経常収益計	21,761,915	180,000	21,941,915
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
大会参加費	410,000		410,000
登録料	329,000		329,000
減価償却費	1,043,372		1,043,372
活動用具費	2,085,225		2,085,225
指導者経費	3,372,900		3,372,900
旅費交通費	2,768,180		2,768,180
賃借料	1,556,345	8,064	1,564,409
車両費	1,681,000		1,681,000
卒団記念品	336,528		336,528
その他経費計	13,582,550	8,064	13,590,614
事業費計	13,582,550	8,064	13,590,614
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
通信費	156,097	1,258	157,355
消耗品費	566,211	4,566	570,777
広報費	157,200		157,200
修繕費	824,991		824,991
水道光熱費	405,959	3,273	409,232
保険料	593,356	404	593,760
交際費	483,681		483,681
租税公課	83,517	13	83,530
支部負担金	387,200		387,200
支払利息	12,553		12,553
雑費	981,181	2,656	983,837
その他経費計	4,651,946	12,170	4,664,116
管理費計	4,651,946	12,170	4,664,116
経常費用計	18,234,496	20,234	18,254,730
当期経常増減額	3,527,419	159,766	3,687,185
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
1. 固定資産除売却損	1,241,098		1,241,098
経常外費用計	1,241,098	0	1,241,098
経理区分振替額	43,866	△ 43,866	0
税引前当期正味財産増減額	2,330,187	115,900	2,446,087
法人税、住民税及び事業税		115,900	115,900
当期正味財産増減額	2,330,187	0	2,330,187
前期繰越正味財産額			7,131,658
次期繰越正味財産額			9,461,845

(注) 賃借料、通信費、消耗品費、水道光熱費、保険料、租税公課、雑費のうち一部は収入割合で各事業に按分しております。

平成28年度 貸借対照表

平成29年9月30日現在

特定非営利活動法人 前橋中央硬式野球倶楽部  
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,085,942		
未収金	1,845,390		
流動資産合計		5,931,332	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
構築物	3,687,295		
車両運搬具	3,294,002		
什器備品	262,238		
有形固定資産計	7,243,535		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(2) 投資その他の資産			
リサイクル預託金	64,710		
投資その他の資産計	64,710		
固定資産合計		7,308,245	
資産合計			13,239,577
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	815,632		
預り金	12,100		
流動負債合計		827,732	
2. 固定負債			
長期借入金	2,950,000		
固定負債合計		2,950,000	
負債合計			3,777,732
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,131,658	
当期正味財産増減額		2,330,187	
正味財産合計			9,461,845
負債及び正味財産合計			13,239,577

平成28年度 財産目録

平成29年9月30日現在

特定非営利活動法人 前橋中央硬式野球倶楽部

(事業全体)

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	25,470	
小口現金 樺会	20,310	
小口現金 指導	216,554	
高崎信用金庫 普通預金	3,002,864	
群馬銀行 普通預金	820,744	
未収金		
貸貸事業未収金	120,000	
部費未収金	1,725,390	
流動資産合計		5,931,332
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
構築物		
室内練習場	1,335,632	
練習場照明器具	1,273,968	
室内練習場ネット貼替工事	745,288	
ネット貼替	332,407	
車両運搬具		
バス(三菱)	1	
バス(三菱)	1	
バス(三菱)	3,294,000	
什器備品		
バッティングマシン	1	
バッティングマシン	86,044	
事務所エアコン	176,193	
一括償却資産		
製氷機	0	
水銀灯工事 3台	0	
監視カメラ等	0	
有形固定資産計	7,243,535	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
リサイクル預託金	64,710	
投資その他の資産計	64,710	
固定資産合計		7,308,245
資産合計		13,239,577
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
指導者経費	257,200	
移動経費他	442,532	
法人税	22,900	
地方法人税	900	
市民税	62,600	
県民税	22,100	
事業税等	7,400	
預り金		
源泉所得税	12,100	
流動負債合計		827,732
2. 固定負債		
長期借入金		
群馬銀行 堅町支店	2,950,000	
固定負債合計		2,950,000
負債合計		3,777,732
正味財産		9,461,845



## 計算書類の注記

### 1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっております。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の償却方法は、定額法及び定率法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
構築物	3,667,862	2,407,120	1,644,180	4,430,802	△ 743,507	3,687,295
車両運搬具	4,700,261	3,952,800		8,653,061	△ 5,359,059	3,294,002
什器備品	1,468,788			1,468,788	△ 1,206,550	262,238
投資その他の資産						
リサイクル預託金	43,020	21,690		64,710		64,710
合計	9,879,931	6,381,610	1,644,180	14,617,361	△ 7,309,116	7,308,245